

# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 東祥

コード番号 8920 URL <http://www.to-sho.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 沓名 俊裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 桑添 直哉

TEL 0566-79-3111

四半期報告書提出予定日 平成25年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,868	10.5	2,342	20.6	2,204	22.6	1,271	35.3
24年3月期第3四半期	8,930	11.3	1,942	14.3	1,797	15.8	939	11.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	72.29	—
24年3月期第3四半期	53.41	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	29,308	9,460	32.3	537.85
24年3月期	26,932	8,419	31.3	478.58

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 9,460百万円 24年3月期 8,418百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年3月期	—	7.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,900 ～12,950	7.5 ～7.9	2,800 ～2,900	10.9 ～14.9	2,600 ～2,700	11.8 ～16.0	1,380 ～1,430	11.8 ～15.8	78.40 ～81.20

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	17,592,351 株	24年3月期	17,592,351 株
25年3月期3Q	2,411 株	24年3月期	1,984 株
25年3月期3Q	17,590,279 株	24年3月期3Q	17,590,432 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により企業の生産活動は増加傾向にあり、個人消費につきましても緩やかではあるものの回復の兆しが見られました。しかしながら欧州経済の減速により欧州向けの輸出額は減少しており、依然として先行きの不透明感が払拭できない状況であります。

こうした経済状況のもとで、主力事業であるスポーツクラブ事業は、平成24年5月に「ホリデイススポーツクラブ」を2店舗、平成24年10月から12月にかけて「ホリデイススポーツクラブ」を3店舗開業いたしました。

また、新規開発に伴う人材の確保と育成を目的に平成24年6月に「新ホリデイカレッジ」（拡大も目的に移転）を開校いたしました。「新ホリデイカレッジ」では、人材育成のほか新規プログラムの研究、製作施設としても利用しております。

営業面においては、「健康な生活を創造し、世のためひとのために尽くす。」の経営理念に基づき、お客様の「健康」に対するニーズに対し着実にお応えすることに努め、ホームページ上でのWebクレジット決済システムの導入により、お客様の入会を促進いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は9,868百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益2,342百万円（同20.6%増）、経常利益2,204百万円（同22.6%増）、四半期純利益1,271百万円（同35.3%増）となりました。

#### <スポーツクラブ事業>

スポーツクラブ事業においては、平成24年5月に「ホリデイススポーツクラブ日進長久手」及び「ホリデイススポーツクラブ船橋日大前」、平成24年10月に「ホリデイススポーツクラブ座間林間」、平成24年11月に「ホリデイススポーツクラブ海老名かしわ台」、平成24年12月に「ホリデイススポーツクラブ小平」を開業、開業店舗数は全国52店舗となりました。

営業面においては、平成25年1月より開始するニュープログラム「TARGET-ABS “FAT BURN”」、「Be a Dancer 第6弾（ビー・ア・ダンサー）」、「ボクシングキング “RUN”」、「ビューティクイーン “美スポーツ”」（女性限定）等の開発を行い、また、平成24年8月には「ホリデイススポーツクラブ松本」、「ホリデイススポーツクラブ浜松」、「ホリデイススポーツクラブ佐賀」、「ホリデイススポーツクラブ伊勢崎」、「ホリデイススポーツクラブ富山」、「ホリデイススポーツクラブ甲府」及び「ホリデイススポーツクラブ福山」においてリニューアル工事を実施いたしました。

前事業年度末に増加に転じた既存店の会員数も継続的に増加傾向にあり、当第3四半期末の既存42店舗の会員数は1.4%の増加となっております。既存店においては、継続的にお客様の「健康」に対するニーズに着実にお応えするため、プログラムの新規開発等既存店の営業力強化に努め、広告宣伝の強化を行いました。

この結果、前事業年度に開業した5店舗及び当事業年度に開業した5店舗の増収効果により、売上高は7,999百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

#### <ホテル事業>

「ABホテル」を愛知県内で5店舗運営しているホテル事業においては、朝夕食の無料サービス、ホームページやインターネット経路の予約販売の強化を継続して行った結果、売上高は814百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

#### <不動産事業>

不動産事業における賃貸マンション「A・City」の一般賃貸物件の入居状況におきましては順調に推移しており、平成24年4月に「A・City三河安城南館」（新幹線三河安城駅周辺、ワンルーム42戸）が完成した結果、売上高は1,054百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、前事業年度末に比べ2,375百万円増加し29,308百万円となりました。

主な要因は、現預金が1,370百万円、ホリデイススポーツクラブの建設により有形固定資産が729百万円増加したことに加え、当第3四半期末日が金融機関の休日等であったため、売上債権である営業未収入金が197百万円増加したためであります。

負債総額は、前事業年度末に比べ1,333百万円増加し19,847百万円となりました。

主な要因は、スポーツクラブ及びビジネスホテル建設の繋ぎ資金として短期借入金802百万円、経常資金として社債を起債した結果1年内償還予定の社債を含め社債が430百万円増加したためであります。

純資産は、前事業年度末に比べ1,041百万円増加し9,460百万円となりました。

主な要因は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の第3四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成24年5月8日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ11百万円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,826,846	3,197,632
売掛金	29,742	29,251
営業未収入金	237,208	434,563
商品	1,820	1,440
貯蔵品	19,188	29,891
繰延税金資産	94,338	66,939
その他	198,994	199,955
貸倒引当金	△180	△180
流動資産合計	2,407,960	3,959,494
固定資産		
有形固定資産		
建物	23,955,502	24,976,178
減価償却累計額	△7,322,197	△7,980,048
建物(純額)	16,633,305	16,996,130
構築物	1,698,741	1,819,597
減価償却累計額	△1,070,922	△1,149,439
構築物(純額)	627,818	670,157
機械及び装置	531,569	594,467
減価償却累計額	△255,278	△292,309
機械及び装置(純額)	276,291	302,157
車両運搬具	36,148	35,062
減価償却累計額	△28,935	△22,667
車両運搬具(純額)	7,212	12,394
工具、器具及び備品	589,596	650,711
減価償却累計額	△476,730	△511,774
工具、器具及び備品(純額)	112,866	138,937
土地	3,353,147	3,309,647
リース資産	741,657	741,657
減価償却累計額	△125,532	△168,048
リース資産(純額)	616,125	573,608
建設仮勘定	372,488	715,811
有形固定資産合計	21,999,255	22,718,845
無形固定資産	25,139	37,521
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,400,620	1,478,483
繰延税金資産	421,411	446,524
その他	657,887	650,527
貸倒引当金	△16,619	△16,620
投資その他の資産合計	2,463,300	2,558,914
固定資産合計	24,487,695	25,315,282
繰延資産		
株式交付費	1,396	—
社債発行費	35,720	33,395
繰延資産合計	37,117	33,395
資産合計	26,932,772	29,308,171

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,325	3,220
短期借入金	438,000	1,240,000
1年内償還予定の社債	620,000	780,000
1年内返済予定の長期借入金	2,820,113	2,933,461
リース債務	47,651	49,648
未払法人税等	636,724	373,648
その他	1,355,714	1,410,200
流動負債合計	5,923,528	6,790,178
固定負債		
社債	1,320,000	1,590,000
長期借入金	8,742,387	8,755,370
リース債務	573,082	545,488
役員退職慰労引当金	787,960	824,580
資産除去債務	167,105	170,645
その他	999,400	1,171,005
固定負債合計	12,589,935	13,057,089
負債合計	18,513,464	19,847,268
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	497,914	497,914
資本剰余金	361,264	361,264
利益剰余金	7,560,477	8,603,409
自己株式	△1,215	△1,684
株主資本合計	8,418,439	9,460,903
新株予約権	868	—
純資産合計	8,419,308	9,460,903
負債純資産合計	26,932,772	29,308,171

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	8,930,620	9,868,180
売上原価	6,176,078	6,630,226
売上総利益	2,754,541	3,237,953
販売費及び一般管理費		
役員報酬	199,530	209,025
給料	67,350	90,744
支払手数料	119,463	132,799
その他	425,364	462,845
販売費及び一般管理費合計	811,707	895,414
営業利益	1,942,833	2,342,539
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,739	3,421
受取手数料	80,337	87,755
雑収入	26,161	24,673
営業外収益合計	110,239	115,850
営業外費用		
支払利息	207,764	206,420
雑損失	48,298	47,936
営業外費用合計	256,062	254,356
経常利益	1,797,010	2,204,033
特別利益		
固定資産売却益	52	2,698
新株予約権戻入益	—	868
特別利益合計	52	3,567
特別損失		
固定資産売却損	1,147	156
固定資産除却損	112	5,493
ゴルフ会員権売却損	3,200	—
会員権評価損	—	1,665
減損損失	—	24,986
特別損失合計	4,460	32,302
税引前四半期純利益	1,792,603	2,175,297
法人税、住民税及び事業税	792,394	901,404
法人税等調整額	60,672	2,285
法人税等合計	853,066	903,690
四半期純利益	939,536	1,271,606



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(開示の省略)

四半期キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報、その他の注記事項、補足情報につきましては、第3四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため記載を省略しております。